

2025年7月

県内企業の景況意識調査

(第193回)

共同調査

大銀経済経営研究所

大分信用金庫

大分県産業創造機構

* 2025年 4～6月期〈Ⅱ期〉の実績見込み

* 2025年 7～9月期〈Ⅲ期〉の見通し

物価上昇の影響を受け悪化

今期（2025年4～6月期〈Ⅱ期〉）の業況判断BSIは、前期比5.5ポイント低下の▲16.7となった。業種別のBSIは『卸・小売業』『運輸業』の2業種で改善、『建設業』『製造業』『サービス業』の3業種で悪化、『金融・不動産業』は前期比不変であった。

国内客の需要の弱さにより観光関連が低調となったサービス業が悪化し、業況判断BSIは2期ぶりの悪化となった。

来期（2025年7～9月期〈Ⅲ期〉）の業況判断BSIは、今期比1.6ポイント上昇の▲15.1となる見通し。業種別のBSIは『製造業』『サービス業』の2業種で改善、『卸・小売業』『運輸業』の2業種で悪化、『建設業』『金融・不動産業』は今期比不変の見通しである。

物価上昇による買い控えへの懸念から卸・小売業が悪化する見込みだが、価格転嫁による収益の持ち直しを見込むサービス業が改善する見通しであり、来期の業況判断BSIは改善する見通し。

* 2025年 4～6月期〈Ⅱ期〉の実績見込み

製造業……………2期連続の悪化

卸・小売業……………卸売業は改善、小売業は悪化

建設業……………2期ぶりの悪化

サービス業……………9期ぶりのマイナス水準

物価上昇の影響を受け悪化

◎業況判断

【今期】(2025年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI：▲16.7（前期比▲5.5㊦）

<内訳>

- ・よくなった 5.8%（前期比▲3.5㊦）
- ・悪くなった 22.5%（前期比+2.0㊦）
- ・変わらない 71.7%（前期比+1.5㊦）

<業種別>

- ・前期比改善：2業種（『卸・小売業』『運輸業』）
- ・前期比悪化：3業種（『建設業』『製造業』『サービス業』）
- ・前期比不変：1業種（『金融・不動産業』）

今期の業況判断BSIは、国内客の需要の弱さにより観光関連が低調となったサービス業が悪化し、全体でも悪化した。

【来期】(2025年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲15.1（今期比+1.6㊦）

<内訳>

- ・よくなる 9.2%（今期比+3.4㊦）
- ・悪くなる 24.3%（今期比+1.8㊦）
- ・変わらない 66.5%（今期比▲5.2㊦）

<業種別>

- ・今期比改善：2業種（『製造業』『サービス業』）
- ・今期比悪化：2業種（『卸・小売業』『運輸業』）
- ・今期比不変：2業種（『建設業』『金融・不動産業』）

来期については、物価上昇による買い控えへの懸念から卸・小売業が悪化する見込みだが、価格転嫁による収益の持ち直しを見込むサービス業が改善する見通しであり、全体の業況判断BSIは改善する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲11.6（前期比▲11.6㊦）

5業種で悪化

収益BSI：▲15.6（前期比▲8.3㊦）

5業種で悪化

【来期】

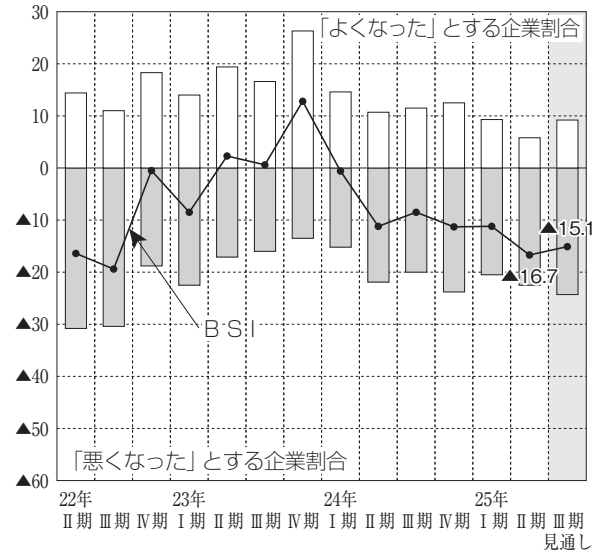
売上高BSI：▲2.3（今期比+9.3㊦）

4業種で改善見通し

収益BSI：▲8.6（今期比+7.0㊦）

4業種で改善見通し

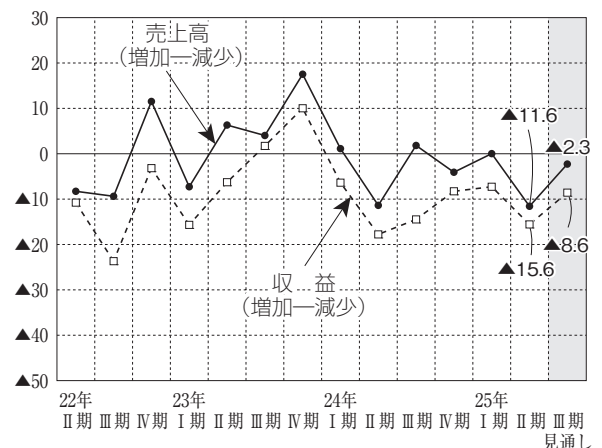
業況判断（BSI）



業況判断指数内訳（BSI）

	2024年 Ⅳ期	2025年 Ⅰ期	2025年 Ⅱ期	2025年 Ⅲ期見通し
建 設 業	▲14.3	▲10.0	▲22.7	▲22.7
製 造 業	▲11.4	▲14.0	▲16.9	▲10.1
卸・小売業	▲30.8	▲21.0	▲18.6	▲30.2
金融・不動産業	20.0	0.0	0.0	0.0
運 輸 業	0.0	▲9.1	0.0	▲23.1
サービス業	6.7	3.7	▲19.3	3.2
全 産 業	▲11.3	▲11.2	▲16.7	▲15.1

売上高と収益（BSI）



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲14.6 (前期比▲11.2ポイント)

4業種で低下

雇用者数の現状 B S I : ▲37.2 (前期比+ 2.8ポイント)

2業種で上昇

【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 5.8 (今期比+ 8.8ポイント)

◎経営上の問題点

1位:「売上不振」(27.4%)

2位:「人手不足」(20.8%)

3位:「原材料仕入価格高騰」(20.2%)

4位:「人材不足」(13.1%)

業種別にみると、「売上不振」と回答した割合は、『製造業』が43.1%と最も高い。「人手不足」は『運輸業』で69.2%と特に高くなっている。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合: 46.2% (前期比+ 6.5ポイント)

3業種で上昇

<投資目的>

1位:「補修・更新」(66.7%)

2位:「生産能力の拡大・売上増加」(10.3%)

2位:「合理化・省力化」(10.3%)

【来期】

実施予定企業の割合: 46.2% (今期比± 0.0ポイント)

2業種で上昇見通し

<投資目的>

1位:「補修・更新」(66.2%)

2位:「生産能力の拡大・売上増加」(14.3%)

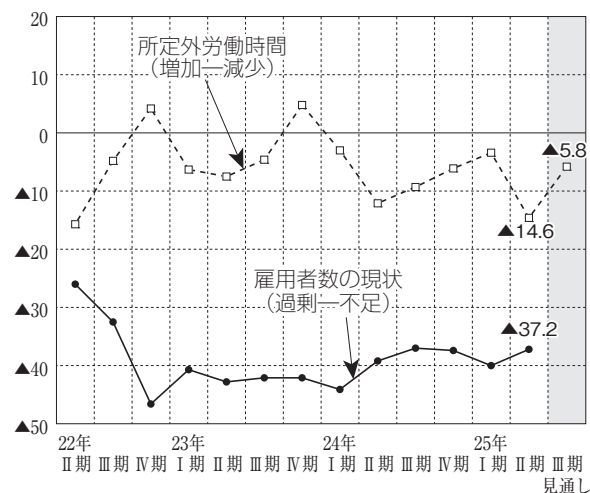
3位:「合理化・省力化」(9.1%)

◎「令和7年度(2025年度)の賃上げ実施」について

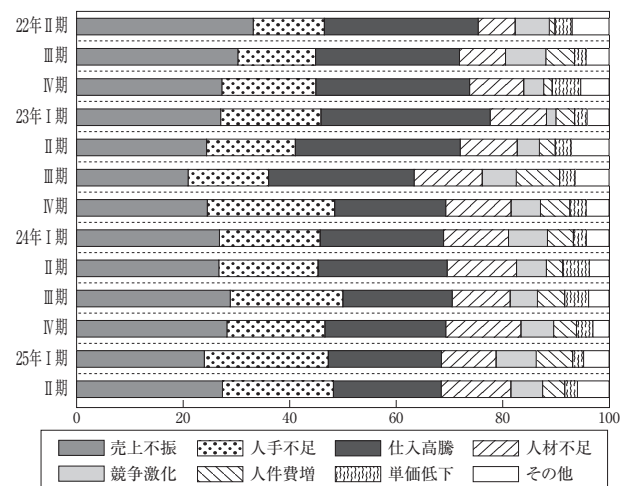
今回の調査において、「令和7年度(2025年度)の賃上げ実施」について尋ねたところ、「例年より高い水準で実施済み・実施予定」が35.8%、「例年通りの水準で実施済み・実施予定」が39.3%、「例年より低い水準で実施済み・実施予定」が4.6%、「実施しない」が6.9%、「未定」が12.7%となった。

前年の「令和6年度(2024年度)の賃上げ実施」についての調査と比較して「例年より高い」「例年通り」がそれぞれ1.5ポイント、3.3ポイント減少した一方、「例年より低い」「実施しない」「未定」がそれぞれ2.8ポイント、1.0ポイント、2.6ポイント増加した。

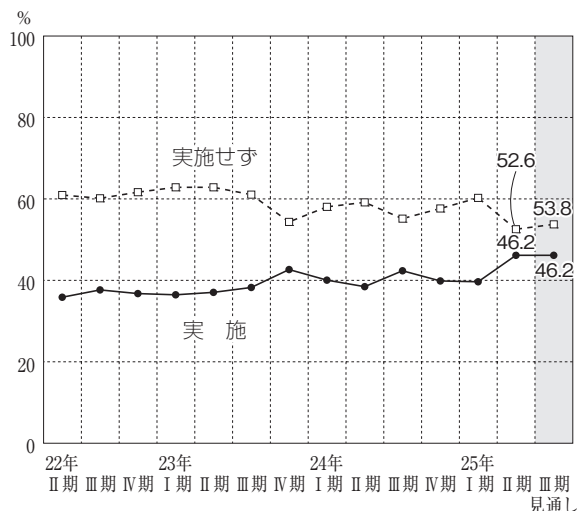
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



2 期連続の悪化

◎業況判断

【今期】(2025年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI：▲16.9（前期比▲2.9ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなった 6.8%（前期比▲3.2ポイント）
- ・悪くなった 23.7%（前期比▲0.3ポイント）
- ・変わらない 69.5%（前期比+3.5ポイント）

＜業種別＞

- ・前期比改善：2業種（「機械」「その他」）
- ・前期比悪化：5業種（「化学・石油」「鉄・非鉄金属」「食料品」「木材・家具」「印刷・出版」）
- ・前期比不変：1業種（「窯業・土石」）

受注が減少したことにより、操業率が低下した「食料品」が悪化したほか、完成車工場の減産により「鉄・非鉄金属」も軟調となり、全体の業況判断BSIも悪化した。

【来期】(2025年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲10.1（今期比+6.8ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなる 11.9%（今期比+5.1ポイント）
- ・悪くなる 22.0%（今期比▲1.7ポイント）
- ・変わらない 66.1%（今期比▲3.4ポイント）

＜業種別＞

- ・今期比改善：4業種（「化学・石油」「鉄・非鉄金属」「食料品」「木材・家具」）
- ・今期比悪化：3業種（「機械」「印刷・出版」「その他」）
- ・今期比不変：1業種（「窯業・土石」）

米国の関税政策の不透明さなどから「機械」が悪化する見込みである一方、新商品の効果などから「食料品」が改善する見通しであり、全体の業況判断BSIは改善する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲8.5（前期比▲0.5ポイント）

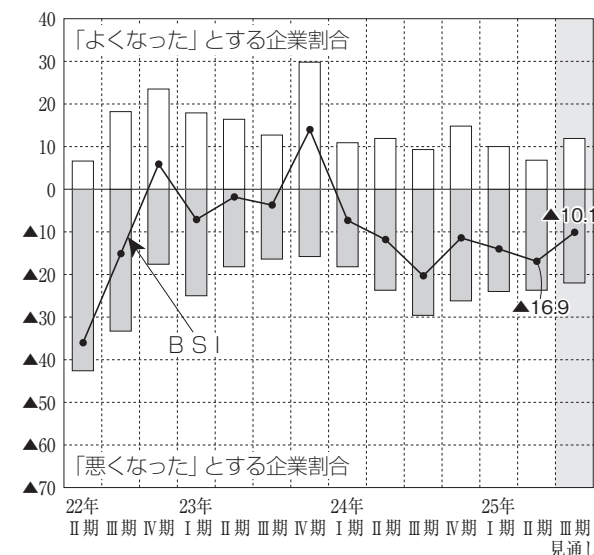
収益BSI：▲18.7（前期比▲6.7ポイント）

【来期】

売上高BSI：+6.8（今期比+15.3ポイント）

収益BSI：▲3.4（今期比+15.3ポイント）

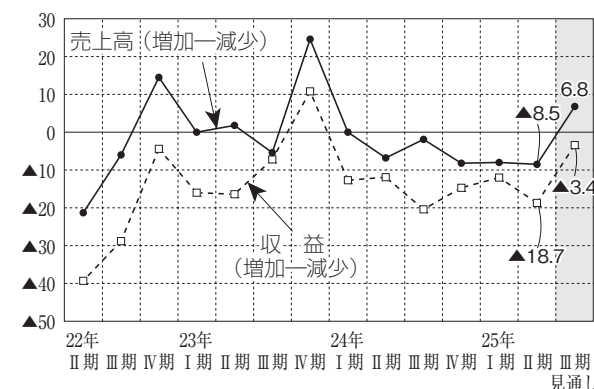
業況判断（BSI）



業況判断指数内訳（BSI）

	2024年 Ⅳ期	2025年 Ⅰ期	2025年 Ⅱ期	2025年 Ⅲ期見通し
化学・石油	11.1	▲14.3	▲22.2	▲11.1
鉄・非鉄金属	▲33.3	▲20.0	▲75.0	▲50.0
機 械	▲27.3	▲13.3	▲4.7	▲9.5
食 料 品	▲11.1	11.1	▲7.7	23.1
木材・家具	▲20.0	▲25.0	▲50.0	0.0
印刷・出版	50.0	▲20.0	▲50.0	▲75.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	0.0	▲66.7	0.0	▲33.3
製 造 業	▲11.4	▲14.0	▲16.9	▲10.1

売上高と収益（BSI）



卸・小売業

(43社)

卸売業は改善、小売業は悪化

◎業況判断

【今期】(2025年4～6月期〈Ⅱ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲15.8（前期比+15.5ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなった 5.3%（前期比+5.3ポイント）
- ・悪くなった 21.1%（前期比▲10.2ポイント）
- ・変わらない 73.7%（前期比+4.9ポイント）

『小売業』

業況判断BSI：▲20.9（前期比▲7.2ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなった 8.3%（前期比▲5.3ポイント）
- ・悪くなった 29.2%（前期比+1.9ポイント）
- ・変わらない 62.5%（前期比+3.4ポイント）

卸売業は売上高BSI、収益BSIがともに改善し、業況判断BSIも改善した。情報システムを扱う企業からは、企業のデジタル投資が継続し、販売が堅調という声があった。

【来期】(2025年7～9月期〈Ⅲ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲36.8（今期比▲21.0ポイント）

『小売業』

業況判断BSI：▲25.0（今期比▲4.1ポイント）

業況判断BSIは、物価高騰による買い控えへの懸念から卸売業、小売業ともに悪化の見通しである。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲21.0（前期比+5.6ポイント）

収益BSI：±0.0（前期比+20.0ポイント）

【来期】

売上高BSI：▲31.6（今期比▲10.6ポイント）

収益BSI：▲15.7（今期比▲15.7ポイント）

◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲20.8（前期比▲39.0ポイント）

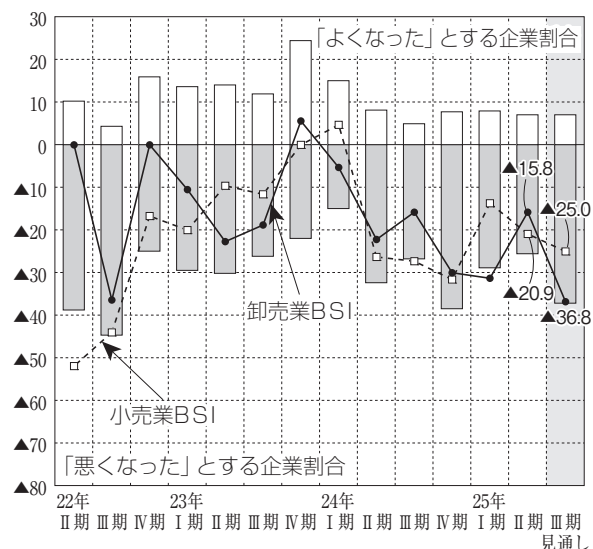
収益BSI：▲20.8（前期比▲29.9ポイント）

【来期】

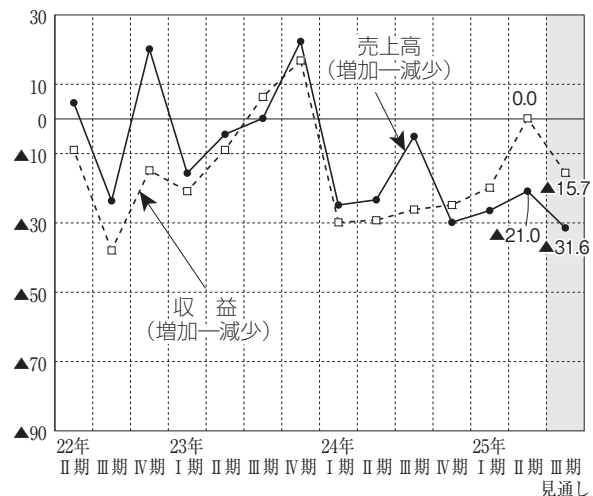
売上高BSI：▲20.8（今期比±0.0ポイント）

収益BSI：▲25.0（今期比▲4.2ポイント）

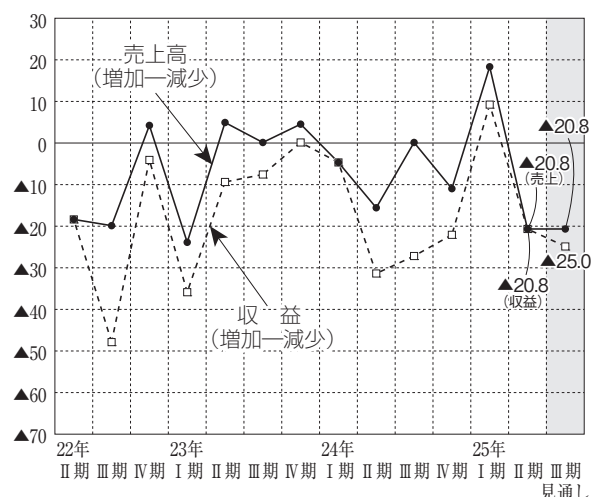
業況判断（BSI）



【卸売業】売上高と収益（BSI）



【小売業】売上高と収益（BSI）



2期ぶりの悪化

◎業況判断

【今期】(2025年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI：▲22.7(前期比▲12.7㊦)

＜内訳＞

- ・よくなった 0.0%(前期比± 0.0㊦)
- ・悪くなった 22.7%(前期比+12.7㊦)
- ・変わらない 77.3%(前期比▲12.7㊦)

5期連続で「よくなった」と回答した企業はなかった。原材料価格の高騰から「悪くなった」と回答する企業が増え、業況判断BSIは2期ぶりに悪化した。

【来期】(2025年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲22.7(今期比± 0.0㊦)

＜内訳＞

- ・よくなる 9.1%(今期比+ 9.1㊦)
- ・悪くなる 31.8%(今期比+ 9.1㊦)
- ・変わらない 59.1%(今期比▲18.2㊦)

来期の業況判断BSIは今期と同水準になる見通し。一部の企業では価格転嫁が進み改善が見込まれる一方で、諸経費の上昇により業況の悪化を見込む企業もあり、二極化が進みつつある。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲22.8(前期比▲17.8㊦)

収益BSI：▲27.3(前期比▲ 2.3㊦)

【来期】

売上高BSI：▲ 9.1(今期比+13.7㊦)

収益BSI：▲18.2(今期比+ 9.1㊦)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI：▲13.7(前期比▲ 8.7㊦)

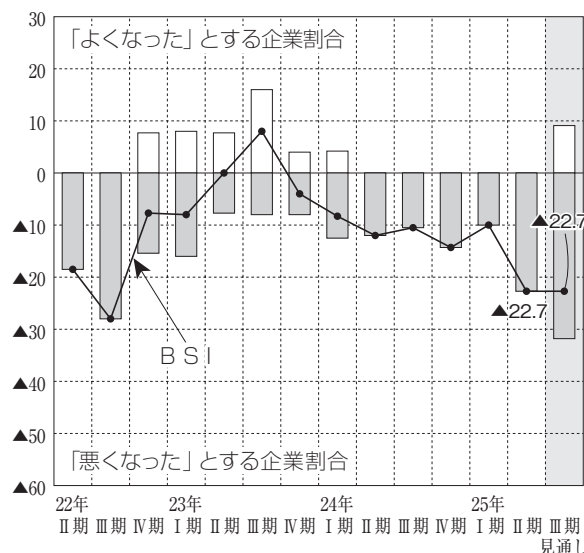
雇用者数の現状BSI：▲86.4(前期比▲ 6.4㊦)

【来期】

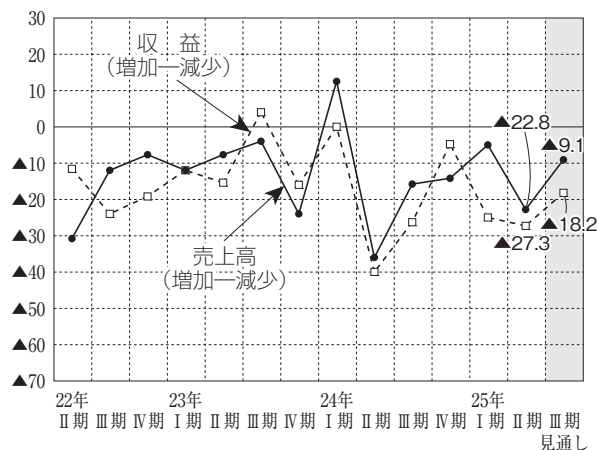
所定外労働時間BSI：▲ 4.5(今期比+ 9.2㊦)

雇用者数の現状BSIは、比較可能な1992年Ⅲ期以降で最低となった。

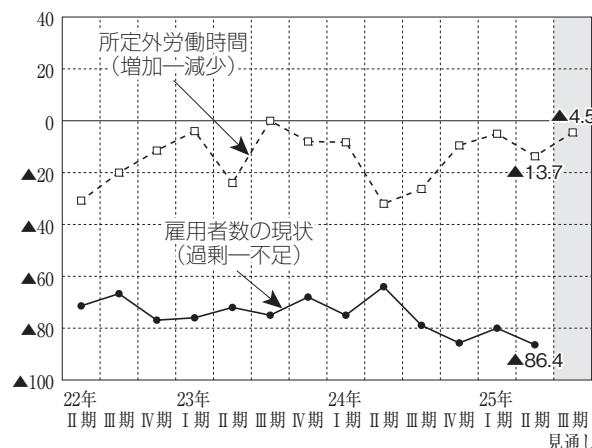
業況判断(BSI)



売上高と収益(BSI)



所定外労働時間と雇用者数の現状(BSI)



サービス業

(31社)

9期ぶりのマイナス水準

◎業況判断

【今期】(2025年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI：▲19.3（前期比▲23.0ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなった 6.5%（前期比▲8.3ポイント）
- ・悪くなった 25.8%（前期比+14.7ポイント）
- ・変わらない 67.7%（前期比▲6.4ポイント）

業況判断BSIは前期から大きく悪化し、9期ぶりのマイナス水準となった。

サービス業のうち観光関連の15社では、「よくなった」と回答した企業は前期比11.7ポイント減の13.3%、「悪くなった」と回答した企業は18.4ポイント増の26.7%となった。観光関連では、インバウンド需要は堅調な一方で、国内客需要の低下が重荷となった。

観光関連以外の16社では、「よくなった」と回答した企業はなく、「悪くなった」と回答した企業は25.0%だった。

【来期】(2025年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：+3.2（今期比+22.5ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなる 12.9%（今期比+6.4ポイント）
- ・悪くなる 9.7%（今期比▲16.1ポイント）
- ・変わらない 77.4%（今期比+9.7ポイント）

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲9.7（前期比▲28.2ポイント）

収益BSI：▲19.3（前期比▲23.0ポイント）

【来期】

売上高BSI：+16.1（今期比+25.8ポイント）

収益BSI：+3.2（今期比+22.5ポイント）

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

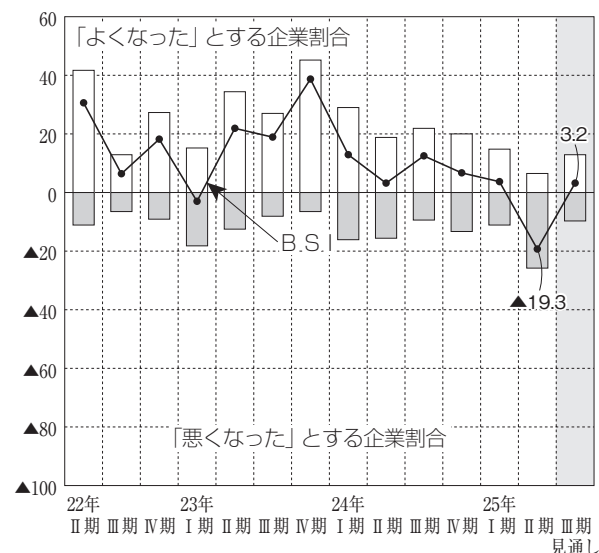
所定外労働時間BSI：▲12.9（前期比▲12.9ポイント）

雇用者数の現状BSI：▲35.4（前期比+9.0ポイント）

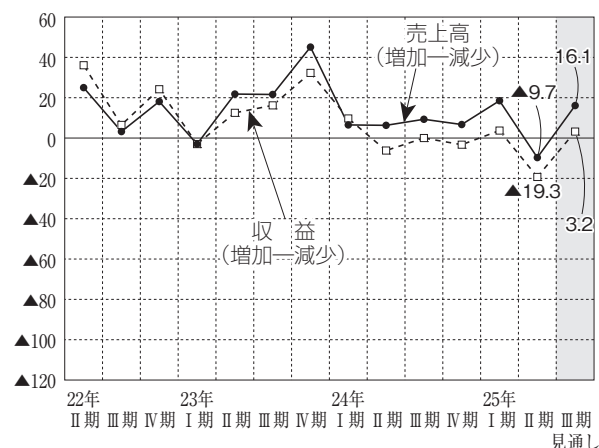
【来期】

所定外労働時間BSI：▲3.2（今期比+9.7ポイント）

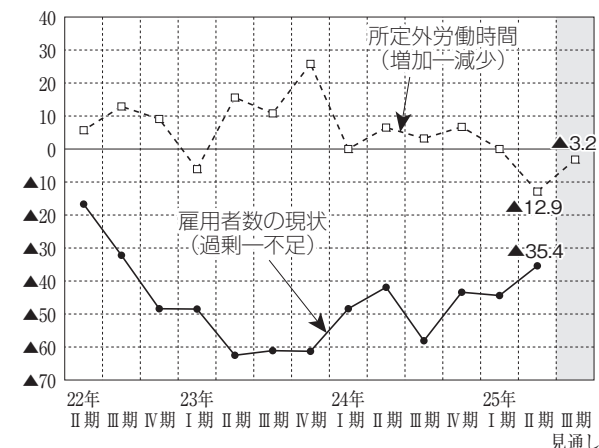
業況判断（BSI）



売上高と収益（BSI）



所定外労働時間と雇用者数の現状（BSI）



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①〔よくなる〕+〔変わらない〕+〔悪くなる〕=100%とする

②〔変わらない〕の回答分を除く

③ BSI = 〔よくなる〕-〔悪くなる〕

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要	
当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。	
◎調査時点	2025年5月20日
◎調査の内容	・自社の景況の実績と見通し ・売上高と収益の実績と見通し ・設備投資実施割合 ・経営上の問題点など
◎調査対象	・県内に本社または出先事業所を有する企業419社
◎回答企業数	173社
・回答率	41.3%
・規模別割合	
資本金1千万円未満・個人	6.4%
資本金1千万円～1億円未満	61.8%
資本金1億円以上	17.3%
無回答	14.5%